

1 ねんせいのかだい

みなさんげんきにすごしていますか？らいしゅうからは、じっさいに きょうかしょで おべんきょうをしてもらいます。どのおべんきょうも、「はやく」するより「たたく」「ていねい」にとりくむことがたいせつです。さあ、しょうがっこうでのおべんきょうのスタートです！まいにちしっかりがんばりましょう。

こくご

① こくご
② さんすう
③ ずこう、せいかつ、たいいく
(③は1にちに
どれかひとつ)

こくご

① おんどく (きょうかしょ)
(いろいろなこえのおおきさ)
おおきなこえ、ちゅうくらい、ちいさなこえ
(いろいろなこえのちょうし)
わらったかんじ、おこったかんじ、ないたかんじ、げんきもりもり、つかれたかんじ、こそこそばなし
② ひらがな
・8かいれんしゅうして、そのもじのつくことばをあつめる(し：しか、しまうま、しろ、しお、しんく、しきしゃ等)



さんすう

さんすうのきょうかしょをよくよみ、きょうかしょにかきこみます。

ずこう

ちょきちょきかざり
(12ページ～13ページ)
※きょうかしょ64ページのはさみのつかいかたをよもう！

たいいく

① せなかぴったり
② てのわくぐり
③ Vバランス など
(ホームページをみてね)

せいかつ

おうちのおてつだい
(くつをそろえる、おさらをはこぶ、むきをそろえておはしをならべる など)

※きよ：きょうかしょ

	げつ	か	すい	もく	きん
	4/27	28	29 しょうわのひ	30	5/1
こくご	おんどく 3かい きよ(8ページ) ひらがな「し」	おんどく 3かい きよ(8ページ) ひらがな「く」	じぶんからおうちのおてつだいができるとよいですね！	おんどく 3かい きよ(22～24 ページ) ひらがな「へ」	おんどく 3かい きよ(22～24 ページ) ひらがな「つ」
さんすう	きよ(3～5ページ) ●せんでつないでたしかめよう！	きよ(8～9ページ) ●1～3までをれんしゅうするよ。		きよ(8～10 ページ) ●4～5までをれんしゅうするよ。	きよ(16～17 ページ) ●6～8までをれんしゅうするよ。
ずこう/たいいく せいかつ	じぶんでえらんでとりくもう！	じぶんでえらんでとりくもう！		じぶんでえらんでとりくもう！	じぶんでえらんでとりくもう！
	4 みどりのひ	5 こどものひ	6 ぶりかえきゅうじ	7	8
こくご	じぶんからおうちのおてつだいができるとよいですね！	じぶんからおうちのおてつだいができるとよいですね！	じぶんからおうちのおてつだいができるとよいですね！	おんどく 3かい きよ(22～24 ページ) ひらがな「て」	おんどく 3かい きよ(22～24 ページ) ひらがな「い」
さんすう				きよ(16～18 ページ) ●9～10までをれんしゅうするよ。	きよ(12～13 ページ) ●5はいくつといくつでできているかしらべよう！
ずこう/たいいく せいかつ	じぶんでえらんでとりくもう！	じぶんでえらんでとりくもう！		じぶんでえらんでとりくもう！	じぶんでえらんでとりくもう！

5がつ7かは がっこうがはじまるよていです！
しゅくだいでとりくみます。

※1年生の保護者の皆様へ

1年生は、学校での勉強より先にご家庭での学習をお願いすることになります。担任から、気を付けてほしいポイントや意義をお伝えしますので、そちらを踏まえた上で子供の様子を見ていただけると助かります。

国語科は、音読とひらがなの練習、算数科は数字の意味理解と数字の書く練習、図工科はご家庭でご用意いただけるもので制作活動を中心に考えております。こちらは、学校再開後に学校に持ってきていただけるよう、お願いします。(図工は現物でもお写真でも構いません。)

他の学年と異なり、既習事項がないために課題の提示が難しく、ご家庭でのご協力のお願いが増えてしまっていて、心苦しい限りです。学校で出した課題ができない場合は、学校にご相談いただければ、個別で考えていきたいと思っております。ご無理のない程度に、学習が進められればと思います。

1年生は、何より小学校への希望の持続が大切です。子供たちが勉強に苦手意識をもたせないように、ゆっくりと丁寧に取り組んでいただけると助かります。

(国語のポイント)

音読：

「あいうえお」は言葉の母音で大切な言葉です。口形に気を付けて、教科書の写真を見たり下記の注意点を読んだりして、正しく発音が出来ようお声掛けください。また、色々な声の大きさや声の感じにしてリズムよく、楽しく音読ができるとよいです。

あ…大きな口を開けて い…口を横に引く感じ う…口をつぼめて え…舌を下唇につけて横に引く
お…口をとんがらせて、息を前に押し出す感じで

平仮名：

書き順はもとより、とめ・はね・はらいに気を付けて、文字のバランスに気を付けて書きます。小学校では、□を四分割し、「1の部屋からスタートするよ」というように、声をかけていきます。ご家庭でも、文字のバランスが取るのが難しい児童は、4分割した□を意識するとバランスよく書く練習になります。言葉探しについては、3、4つを目標に、意欲をもって取り組めるようお声掛けください。

※取り組むのはどんな紙でもかまいません。

添付した国語のノートは、ご家庭でプリントアウトができるようでしたら、ご活用ください。

1	2
3	4

(算数のポイント)

『なかまづくりとかず』

教科書3～5ページは、線をつなぎ、あまりに○をすることで、「～のほうが多い」、「～のほうが少ない」などの表現を身に付けて、たりる・たりないという概念を理解させます。数字の練習については、平仮名のように、文字のバランスに気を付けて正しい数字を書きます。特に1や7には注意が必要です。

(図工のポイント)

ちょきちょきかざり：教科書12ページ～13ページ

☆教科書64ページのはさみの使い方をみて、正しい持ち方と切り方で取り組めるとよいです。

★切って開いた時の偶然生まれる形の面白さに児童が気付くことが大切です。学校では以下の観点で授業を進めます。取り組むときの参考にしてください。

- 紙を切っていろいろな形をつくったり、教室を飾ったりするときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付く。
- 紙、はさみ、のりなどに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表す。
- 切った紙の形や色から感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考える。
- 楽しく紙を切ってできるいろいろな形で、教室を飾る学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などにかかわり楽しい生活を想像しようとする。